

### 3. 平成18年度 事業報告

理事長 栗原 敏

#### I. 平成18年度の事業概要

平成18年度は、これまで整備してきた大学運営基盤の上に、中・長期事業計画の基本方針に則り、具体的な事業計画を立てて実施することを目的として、学校法人慈恵大学の管理・運営、教育・研究、診療・医療安全に関する以下の事業を行った。

事業計画の基本方針は、(1)社会のニーズに応えることのできる医療人育成を目指し、卒前・卒後教育の改善を推進すること、(2)臨床を支える特色ある研究を振興するために大学院を中心とした研究の活性化と研究費獲得の改善を図ること、(3)附属病院では安全で質の高い医療を提供し患者サービスの向上を図るための具体策を実施すること、(4)特色ある診療と4附属病院の機能分化を推進し、4附属病院間の有機的連携を図ること、(5)健全な財政基盤を築くために無駄な経費を削減し医療収入の増収を図ること、(6)青戸病院の新築（平成20年度着工予定）と本院外来棟建築（平成23年度着工予定）など新しい建築計画に向けてプロジェクトチームを立ち上げ具体的な計画を立てること、などであった。

#### 1. 法人運営に関する計画

##### 1) 法令遵守の精神の徹底

- (1) 内部監査室が中心となり公的補助金の監査を実施し、公的資金の適切な使用の確認と指導を行った。
- (2) 本学の公益通報制度を周知徹底させるために携帯用カードを作成して全教職員に配布し、法令遵守精神の涵養に努めた。
- (3) 個人情報保護に関するシンポジウムを開催した他、個人情報保護法に抵触する各種の事例をオールユーザーメールで教職員及び学生に配信し、継続的に注意喚起を行った。

##### 2) 医療安全管理の推進

- (1) 4附属病院における医療安全管理体制を多様な視点から点検・評価するため、東京大学と早稲田大学の人間工学研究室と共同研究を行い、その成果の発表会を行った。
- (2) 医療安全に関する定期的にリスクマネジメントシンポジウム、医療安全管理と倫理のワークショップ、医療安全週間などを開催した。
- (3) 各附属病院長が医療安全管理に適切に対応出来るように、病院長管理の医療安全管理予算を設け、有効に活用した。

##### 3) 安定した財政基盤の整備

- (1) 人件費抑制に向けた業務改善、効率的な要員配置による職員数の純減について検討を開始した。また、労働生産性を高めるために就業時間を見直した。
- (2) 診療報酬のマイナス改訂を補完するため、新看護加算を4附属病院で算定できるよう看護師確保に取組み成果を上げた。また、医療収入予算を年度途中で見直し、増収対策に積極的に取組んだ。
- (3) 学内横断的タスクフォースの成果をイントラネットで公開し、情報を各部署で共有できるようにした。また、タスクフォースを全学的に拡大し推進した。

##### 4) 人材育成システムの構築

- (1) 評価に基づいた人材育成システムの構築を目標に、教員評価システムの構築に取組みほぼ完成させた。

##### 5) 広報活動の充実

- (1) 社会的な問題が発生したときに対外的に対応できる広報体制を組織し、迅速に対処した。

##### 6) 青戸病院新築に向けての体制作り

- (1) 青戸病院の新築に向けて、青戸病院リニューアル・タスクフォースを編成して、新しい青戸病院のコンセプトを作成し公表した。

## 7) 大規模災害発生時の危機管理体制の構築

- (1) 西新橋校・附属病院合同防火災害対策委員会が大規模災害発生時の対策マニュアルを作成した。各機関でも当マニュアルを参考にして、大規模災害発生時の対策マニュアルを作成することにした。

## 8) IT化の推進

- (1) ITあり方検討会において、診療部門のIT化を推進するためにグランドデザインの再構築を検討した。
- (2) 平成19年5月2日から、附属病院オーダーリングシステムを稼働させることを目標に具体的な準備に取り組んだ。

## 9) 大学協力病院との連携強化

- (1) 地域医療の充実や卒後教育のため大学協力病院との連携強化を目指したが、医師不足のため連携を推進することが困難であった。

## 2. 教育・研究に関する計画

### 1) 特色ある教育・研究の推進

- (1) 講座等あり方検討委員会の答申にそって、講座の一部改編および新設、名称変更などを実施した。講座等あり方検討委員会を発展的に解消し、大学機構検討会を設置して大学機構全体を継続的に検討することにした。
- (2) 教育センターの体制が整い、医学教育、看護教育、卒後臨床研修、専門修得コースへの支援業務を開始した。
- (3) 新しい体制となった大学院研究科委員会において、大学院教育カリキュラム、および研究指導體制、学位申請および審査方法の改善について検討し、平成19年度から実施することになった。
- (4) 看護学科に大学院修士課程を設置するために、看護学科大学院修士課程設置準備室を開設し、申請手続きの準備を開始した。
- (5) 文部科学省平成18年の「現代的教育ニーズ支援プログラム」に本学が申請した「卒前教育教材から生涯継続学習教材へ」が採択された。

### 2) 卒前・卒後教育の改善

- (1) 看護学科のあり方と看護専門学校の統合・再編について検討し、看護学科の定員を40名に増員した。また、青戸看護専門学校を平成22年3月31日付で閉校することを決定した。
- (2) 大学基準協会の評価で指摘された改善事項について中間報告書を作成し、協会へ提出した。
- (3) 初期臨床研修と専門修得コースのプログラムを改善し、ホームページに掲載して募集を推進した。
- (4) GKT（英国）およびプロビデンス病院（米国）との教育交流の一環として講演会を開催した。

### 3) 入学試験の改善

- (1) 医学科入学試験を平成19年1月28日（一次試験）に一本化した。このため、二次試験の面接は2月8日・9日・10日の三日間実施したが、特に混乱はなかった。
- (2) 看護学科の定員を1学年40名に変更し、今回の入学試験から募集人員を40名とした。

### 4) 教員組織の改定

- (1) 文部科学省による新しい教員組織（教授、准教授、講師、助教）の改定に向けて検討委員会を設置し、平成19年度から新教員組織となった。

## 3. 診療に関する計画

### 1) 医療安全管理の徹底

- (1) 医療安全管理室を医療安全推進室と改称して機能を強化し、附属病院間で相互ラウンドを行うなど4病院間の連携を図った。

- (2) 平成18年度も継続して医療安全管理に関するワークショップ、シンポジウム、医療安全週間を開催し、教職員の医療安全に対する意識を高めた。

## 2) 先進医療の推進

- (1) 低侵襲的な手術を中心とした先進医療のトレーニングシステムの構築を図った。

## 3) 患者サービス・病診連携の推進

- (1) 附属病院に患者支援・医療連携センターを設置し、患者支援を推進した。
- (2) 社会とのコミュニケーションを強化するため、積極的に医療情報を発信して広報活動を行った。

## 4) 効率的な医療の推進

- (1) クリニカルパスの推進、看護支援システムの導入により治療の標準化を図り、安全で効果的な医療の提供に努めた。
- (2) 平成19年5月の附属病院オーダリングシステム導入に向けて準備した。
- (3) 医師、看護師、コメディカルの業務分担を見直すための検討を開始した。
- (4) 学内横断的タスクフォースの取組みを4附属病院に拡大し、収益力の強化と業務の効率化に取り組んだ。

## 5) 青戸病院の新築準備と4附属病院機能分化

- (1) 成医会総会でのディスカッションとコンサルテーションの結果を踏まえて青戸病院新築計画を具体化するために、青戸病院リニューアル・タスクフォースを組織し、検討を開始した。

## 6) 予防医学の構築

- (1) 健診センターの組織を再編し、「総合健診・予防医学センター、新橋健診センター、晴海健診センター」を設置した。各病院の健診部門との連携を深め発展させるとともに、予防医学への取組みを進めることにした。

## 7) 森田療法センターの開設

- (1) 森田療法を広く世界に発信するため第三病院に森田療法センターを開設することにした。

## 4. 18年度の主な事業計画（建設工事）

### 1) 法人事務局

なし

### 2) 西新橋建築計画

- (1) 大学2号館設備整備工事（H19.3完了）  
（第3期：4階、5階冷暖房機器更新工事）
- (2) 中央棟OP画像を大学1号館講堂へ配信システム工事（H18.7完了）
- (3) 臨床講座主任教授室新任に伴う大学2号館10階他改修工事
  - ① 丸毛教授室・大木教授室新設工事（H18.5完了）
  - ② 相羽教授室設置工事（H18.11完了）
  - ③ 桑野教授室設置工事（H19.3完了）
  - ④ 看護学科教員控室並びに実習生控室設置工事（H19.3完了）
- (4) 大学2号館地下1階教育センター設置工事（H18.5完了）
- (5) ME研究室拡張工事（H18.11完了）

### 3) 国領校

- (1) 国領校本館階段室塔屋電気室前天井アスベスト封じ込め工事（H19.3完了）
- (2) 狛江通り拡幅に伴う国領校敷地セットバック工事（H19.2～H19.3）

#### 4) 本院建築計画

- (1) 外来棟（A棟）エレベーター到着表示灯設置工事（H18. 5完了）
- (2) サイン工事
  - ① 院内サイン改修工事（H18. 5完了）
  - ② 管理棟脇「慈恵医大病院」の案内看板設置工事（H18. 7完了）
- (3) 血液浄化部移転に伴う6 E 病棟改修工事（H18. 3着工～H18. 6完了）
- (4) スターバックス出店工事（H18. 8完了：経費は慈恵実業負担）
- (5) 画像診断部関係
  - ① 外来棟X線 TV 更新工事（骨塩定量検査室移転含む）（H18. 6完了）
  - ② 外来棟No.6室 CTを16列 CTに更新（機器の入替のみ：H18. 8完了）
  - ③ 外来棟No.7室 CTを2管球 CTに更新（H18. 9完了）
  - ④ 外来棟3階超音波検査室改修工事（H18. 10）
  - ⑤ 外来棟No.15室 MR 更新工事（H19. 3完了）
- (6) 医療ガス設備整備工事（H18. 12完了）
- (7) 院内各所防犯カメラ設置工事（H18. 12完了）
- (8) ペインクリニック医師控室設置工事（H19. 2完了）
- (9) ポケットベル・サービス打ち切りに伴う PHS 電波不感帯へのアンテナ設置工事（H19. 3完了）

#### 5) 青戸病院建築計画

特別会計工事は、なし

#### 6) 第三病院建築計画

特別会計のみ

- (1) 内科プレハブ建替（研究棟増築）工事（H18. 12～H19. 3）
- (2) 森田療法センター設置に伴う改修工事（H19. 1～H19. 4完了）

#### 7) 柏病院建築計画

特別会計のみ

- (1) リハビリ施設拡張工事及び関連工事（H18. 7完了）
- (2) 柏病院注射薬自動払出システム導入に伴う電源コンセント増設と空調設備工事（H18. 11完了）
- (3) 栄養部厨房改修工事（H19. 3着工～H19. 7完了予定）

※事業計画外の工事も記載。（ただし、分院は特別会計のみ記載）